



創立148周年

奄美市立市小中学校学校だより 令和5年5月号

とびら島



ブログ



ホームページ

雑草～したたかに生きる力～

校長 中山 克彦

先日あるテレビ番組を見ていたら、チコちゃんが「雑草って何？」とゲストに問いただしている場面がありました。正解は「望まれていないところに生えているすべての草」なのだそうです。確かにそうだと思う一方で、かつて「雑草という草はない」と語った牧野富太郎博士の言葉を思い出すことでした。この言葉は、作家の山本周五郎が若き編集記者だった頃、牧野博士にインタビューしたとき、「雑草」という言葉を使ったところ、次のようにたしなめられたのが出典とする説があります。

「きみ、世の中に`雑草、という草は無い。どんな草にだって、ちゃんと名前がついている。わたしは雑木林（ぞうきばやし）という言葉がキライだ。松、杉、檜（なら）、楓（かえて）、櫟（くぬぎ）—— みんなそれぞれ固有名詞が付いている。それを世の多くのひとびとが`雑草、だの`雑木林、だのと無神経な呼び方をする。もしきみが、`雑兵、と呼ばれたら、いい気がするか。人間にはそれぞれ固有の姓名がちゃんとあるはず。人を呼ぶ場合には、正しくフルネームできちんと呼んであげるのが礼儀というものじゃないかね。」

（木村久邇典著『周五郎に生き方を学ぶ』実業之日本社から）

私が子どもの頃は草取りが大嫌いで、親に「遊じよらんで庭ん草を取らんか!」と言われても逃げ回っていたのに、まさか大人になってこんなに草と格闘するとは思っていませんでした。しかし、そのために雑草をよく観察する機会も多くなりました。日照が続いても枯れない強さ。牙のように鋭利な形をした根。芽を出して数日で花を咲かせ種子を作る繁殖力。また、最近の研究では、雑草と言われるような植物が、人間には見えない方法で音を感じたり、虫に対して特殊なタンパク質で防御反応をしたりしていることが分かってきたそうです。さらには、離れた場所にある植物同士がコミュニケーションをしたり、菌糸を共有することでネットワークを作ったりすることも明らかになってきているそうです。



「雑草魂」とはよくいいますが、過酷な環境にも負けずしたたかに生きる雑草には感心させられます。「したたか」というと、いい意味でも悪い意味でも使われることがありますが、多様化が進み変化し続ける社会を生きていく子どもたちにとって、したたかに生きる力もまた必要なことだとあらためて思うことでした。

奄美の豊かで荘厳な自然に恵まれた本校の環境は、自然から学べることが無数にあります。これからも自然をただ眺めるのではなく、名前を知り、特性や他の自然との関わりを知り、その一生に思いを馳せられるような深まりのある教育活動を進めていきたいと思いをします。

浜下れでの 子どもたち

14日午後から「浜下れ」が行われ、子どもたちも参加をしました。今年みんなで一緒にご飯を食べることもでき、夕方まで集落の方々と素敵な時間を過ごすことができました。ありがとうございました！



船団パレードに参加♪



「虫けらし」



舟こぎ競争



久しぶりのみんなでの会食！



伝統の米搗き唄



三味線・歌の披露

その他の活動



地震津波避難訓練



交通安全教室

栄養について考える学習



土砂災害防止教室



お弁当の日



ゆらおうタイム



イモ畑づくり

6・7月行事予定

【6月】

- 2日(金)夏のふるさと学舎
- 5日(月)歯と口の健康教室
- 10日(土)土曜参観 H² 咬傷防止教室
- 13日(火)小 5,6 宿泊学習(～15日)
- 16日(金)小 5,6 休養措置日
中学年社会科見学
- 20日(火)不審者対策訓練
- 23日(金)きらり推進部会
- 27日(火)中学校期末テスト(～29日)
- 29日(木)学級 PTA 学校保健委員会

【7月】

- 2日(日)PTA 美化作業 遠泳現地練習
- 8日(土)土曜授業 校内水泳大会
- 13日(木)学校評議員会
- 14日(金)租税教室
- 20日(木)終業式
- 21日(金)夏休み(～9月1日)
- 23日(日)PTA 主催遠泳大会(予定)

※8月1日と8月21日は出校日です